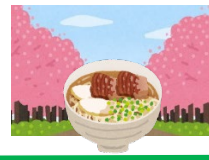




IoTを活用した水道検針の自動化（本部町）



R2.3.31 現在

事業者	沖縄通信ネットワーク株式会社
事業概要	水納島(本部町)にIoT対応の検量器を設置し、LPWAにより自動的に検針データ取得する。実験によりIoTでの水道検針結果の正確さは検針手段、請求根拠として信頼できることが判明したため、2020年にサービスイン。※4月より伊江村・名護市・宮古島市にて商用化決定！

【課題】

- 水道検針者の高齢化
⇒労働者の減少問題を解決したい
- 都度検針、天気によって左右される
⇒遠隔地の検針作業を効率化したい

BEFORE :
現場で検針作業



IoT導入により

↓屋上に設置したSigfoxアンテナ



↓デバイスを設置する様子



AFTER :
自動検針/データ送信



【今後の展開】

- 漏水の遠隔監視などインフラ管理に活用
- 一人暮らしの高齢者見守りとして応用
- 沖縄県のIoT普及に貢献いたします

★「漏水」等の状態監視が可能
★サブスクリプションにより、月額料金：数百円で、端末・通信・プラットフォームが利用可能

【伝送方法】
Sigfoxの局を建て、水納島の検針メーターから指針値を伝送。

←水道メーター
(1~24回/日のデータ取得が可能)

水道検針自動化の仕組み

